



お取引先様 各位

シアテック調査・設計実績のご案内

『西日本豪雨災害関連調査測量設計』

皆様におかれましては、ますますご発展のこととお喜び申し上げます。

日頃は格別のご愛顧を賜り、ありがたく厚く御礼申し上げます。

今回は弊社が調査・設計に参画いたしました『西日本豪雨(平成30年7月豪雨)災害関連調査測量設計』についてご紹介させていただきます。

平成30年6月28日から7月8日にかけて西日本各地では記録的な豪雨となり、愛媛県では死者31名、負傷者33名、安否不明者1名、住家全半壊3733棟、床上床下浸水は2679棟、公共土木施設の被害額は約426億円にも上る甚大な被害が発生しました(※注)。被災地では、2次災害の危険が除去されないまま残置されている箇所が多数あり、一日も早い本復旧対策の実施が望まれているところです。 ※注) 被害状況は30. 12. 28愛媛県防災危機管理課発表資料による。

弊社は、地域建設コンサルタント会社としての社会的責任を果たすべく、愛媛県の要請を受け、発災直後からいち早く被災状況等の調査、測量を行うとともに、道路や河川、砂防の各分野において本復旧のための設計業務に全力で取り組みました。

特に、土石流により浄水・給水機能が破壊され、長期間にわたり断水状態に陥った宇和島市吉田地区に位置する2級立間川水系本村川では、本川全区間にわたり被災状況の早期把握に努めました。また、河川施設の被災箇所は、被災形態や河道の形状、流下能力などの河道特性に応じた復旧方針を検討した上で、本復旧工事のための詳細設計を行いました。



2級立間川水系 本村川 被災状況

弊社は、今後とも災害復旧に関する業務はもちろんのこと、公共土木施設の調査・設計を通して、安全・安心な「住み続けられるまちづくり」の実現に貢献してまいります。

—安心と満足をデザインする—

総合建設コンサルタント・一級建築士事務所



株式会社 シアテック

ISO9001認証: MSA-QS-706

<http://www.ciatec.co.jp>

担当: 本社営業部

TEL: 0897-37-5921

FAX: 0897-32-5979

E-mail: ctl@ciatec.co.jp

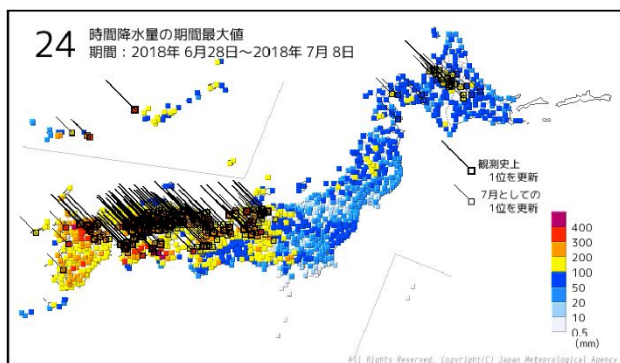
【 災害関連の主な実施業務の概要 】

発注者	河川名/路線名	業務概要
愛媛県南予地方局	2級立間川水系 本村川	河川護岸他測量設計 L=1.0km
愛媛県八幡浜土木事務所	2級千丈川水系 南柏川	土石流堆積工調査測量設計 N=1基
※愛媛県東予地方局	2級中山川水系 妙之谷川	溪流保全工測量設計 L=1.2km
愛媛県八幡浜土木事務所	一般県道 鳥井喜木津線	道路構造物測量設計 N=1箇所
愛媛県四国中央土木事務所	主要地方道 川之江大豊線	道路構造物測量設計 N=4箇所

※印は平成30年9月29～30日の台風第24号豪雨による災害復旧業務。

【 平成30年7月の気象状況 】

24時間降水量の期間最大値の分布図(6月28日0時～7月8日24時)



出典：災害をもたらした気象事例30.7.13気象庁

24時間降水量で観測史上最大を更新した愛媛県内の主な地点

観測地点	24時間降水量(mm)	
	平成30年7月豪雨	これまでの観測史上1位
今治市大三島	250.0	181.5
今治市今治	279.5	185.0
松山市南吉田	259.5	235.0
伊予市中山	260.0	244.0
大洲市大洲	263.5	203.0
八幡浜市八幡浜	307.5	191.0
西予市宇和	347.0	292.0

【 河川・砂防施設災害 】



南柏川 流域上部での斜面崩壊状況



南柏川 土石流による人家被災状況



本村川 土砂埋塞による氾濫状況



本村川 土砂埋塞による氾濫状況



妙之谷川 氾濫状況

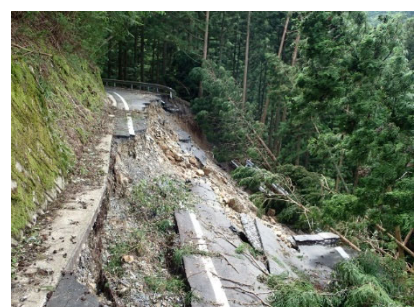


妙之谷川 護岸被災状況

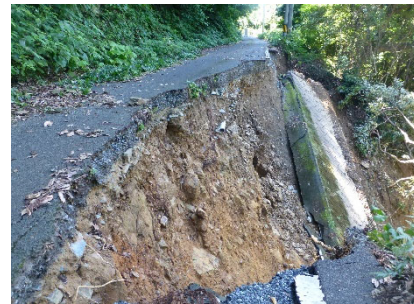
【 道路施設災害 】



川之江大豊線 道路埋塞状況



川之江大豊線 路肩崩壊状況



鳥井喜木津線 路肩崩壊状況